

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 30 年度 第 1 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 4 月 13 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：兼子、浅野、帖佐、佐藤、清水、柴、乙訓、高木

欠席者：高崎、棚村

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

平成 29 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金案内があった。

平成 29 年度岐臨技精度管理事業部報告会 (50,000 円)、臨床微生物部門研修会 (36,500 円)、合計 (86,500 円) を 2 月 28 日付けで指定口座に送金された。(高木部長)

平成 30 年度会費の送金案内があった。

平成 30 年 2 月締め分を 3 月 27 日付けで指定口座に送金された。会費 10,000 円×781 名=7,810,000 円 (高木部長)

岐阜県糖尿病対策推進協議会より全国糖尿病週間協賛のお礼の報告があった。

11 月 19 日に岐阜グランドホテルで開催した「世界糖尿病デー記念県民セミナー in GIFU」は 258 名の参加があり大変好評であり満足していただけたとの報告であった。(高木部長)

日臨技より平成 29 年度各賞受賞者決定についての報告があった。

日臨技有功賞、優秀論文賞、優秀演題賞、特別奨励賞、日韓交流功労者推薦等についての報告であった。(高木部長)

日臨技より検体採取等の厚労省指定講習会担当実務員の宿泊について案内があった。

自宅から会場までの所要時間が 2 時間以上を要し、会場準備集合時間に間に合わない場合に限り宿泊を可とする内容であった。(高木部長)

岐臨技から宿泊費を出しています。今のところ日臨技への申請は行っておりません。(兼子会長)

滋賀県病院事業庁経営管理課長より職員採用選考の実施について依頼があった。

臨床検査技師採用選考(平成 30 年 7 月より採用)を実施することになり就職希望者をご案内いただく様お願いしたいとの内容であった。

選考期間は第1次が平成30年4月28日(土)、第2次選考が平成30年5月12日(土)。  
岐臨技 HP にて掲載しご案内します。(高木部長)

日臨技より検体採取等の厚労省指定講習会、岐臨技所属施設検査部門長への早期受講についての連絡があった。

岐阜県内で受講率50%以下の施設は、医療法人社団橘会新生病院25.0%、美濃市立美濃病院40.0%、下呂市立金山病院25.0%、医療法人社団登豊会近石病院33.33%、公益社団法人岐阜病院50.0%、特定医療法人清仁会のぞみの丘ホスピタル50.0%、東海学院大学50.0%との報告であった。(高木部長)

日臨技より平成30年度日臨技事業計画における各都道府県技師会との関連事業へのご協力について、3月24日に開催された日臨技第6回理事会において平成30年度日臨技事業計画と予算が承認されたのでこれらについて詳細の案内があった。

都道府県技師会の主催事業について

1 生涯教育推進研修会開催支援について、1研修会、定額2万円及び日臨技会員である参加者1人あたり500円最高60名まで(最大5万円)を上限とし1都道府県あたり20研修会(最大100万円)までお支払します。

2 都道府県主催「次世代ニューリーダー育成講習会」の開催支援、(過去4年間実施、4名)が中心となり都道府県で事業展開していただきます。役員派遣は日臨技負担とします。(高木部長)

日臨技・都道府県技師会の共同事業について

1 全国「検査と健康展」11月の開催目処、開催経費は日臨技・都道府県臨床技師会が主催で行う場合一律50万円をお支払します。

2 日臨技精度管理結果サポート事業、「C・D」評価施設へのサポート事業として定額4万円・日臨技会員である参加者1人あたり500円最大60名まで(最大7万円)を1研修会に限り助成する。

3 地域ニューリーダー実践講習会の開催、平成30年度は各県の受講修了者4名から1名を推薦いただき受講していただく方向で検討している。交通費は日臨技負担、宿泊費は都道府県技師会で負担願います。

4 職能向上のための臨床検査技師育成講習会の開催について、平成30年度から3年継続事業として各都道府県技師会で開催お願いいたします。開催にあたり定額20万円+参加者1名あたり1,000円の経費を日臨技が負担します。3年間で会員数の1割以上の参加を目指しております。

5 初級・職能開発講習会の開催依頼、卒後3年から10年の会員を対象にスキルアップを目的に全国展開。講習内容は日臨技で企画します。開催にあたり定額5万円+参

加者 1 名あたり 1,000 円の経費を日臨技が負担する。

6 総会委任状回収委託について事前議決権行使数及び出席者数に対し 1 名あたり以下の金額をお支払します。

66.7%以上の場合：70 円（1 名につき）

50%以上 66.7%未満の場合：50 円（1 名につき）

50%未満の場合（1 名につき）

支部学会担当都道府県技師会

1 養成校学生フォーラム

平成 30 年度も継続していきませんが詳細について改善点を踏まえ検討中

2 中高生進路支援ガイダンス等（高木部長）

平成 30 年度生涯教育推進研修会への助成について高木理事より報告があった。

1・助成対象研修会

各都道府県技師会において日臨技会員を対象として企画・運営される研修会であること。

平成 30 年 4 月から平成 31 年 2 月までに開催する研修会であること。

日臨技生涯教育制度の行事登録、予算申請を開催一ヶ月前までに行い、生涯教育点数が付与され、助成金対象審査を受け担当理事が承認した研修会とする。

助成対象研修会の報告書提出期限は平成 31 年 3 月 10 日とする。

2・助成交付額の算定

1 研修会につき定額 2 万円とし日臨技会員参加者 1 名につき 500 円を乗じた額を算定。参加者の助成は 60 名までとし、5 万円を限度額とする。

3・申請方法について

都道府県技師会専用会員管理システム行事登録および予算登録等の入力を行う。開催 1ヶ月前までに申請すること。

4・研修会終了後の手続きについて

都道府県技師会専用会員管理システムにて参加登録を完了し決算報告を入力すること。

5・交付額の振込について

決算報告書作成完了から 2 ヶ月を超えない期間で各都道府県技師会の指定口座に送金する。

6・研修会経費について

研修会開催に要する経費が最終的に赤字になっても補てんは一切行わない。赤字となった場合の決算報告書には都道府県推進事業費として不足分を計上するものとし、収支差額 0 円とする。収支が黒字であった場合でも返金は求めない

が都道府県推進事業費の計上がある場合その金額から黒字分を差し引き最終的に残った金額のみを黒字として計上する。

1 予算申請について

開催 1 ヶ月前までの申請をお願いします

2 提出について

予算申請書、決算報告書の郵送・メールでの提出は不要です。決算報告書の入力完了への切り替えは学術担当者、会計担当者、研修会担当者の最終確認者の確認が済んでから行ってください。

3.概要・効果について

研修会の内容は生涯教育の観点からみた振り返りを記入してください。

4.参加人数について

決算報告書の参加人数は講師・実務委員・非会員を含めた参加者一覧の合計人数と一致するように入力してください。

参加者一覧の人数は参加登録をすると変動します。参加登録が済んでから決算登録を作成してください。

非会員参加者については参加者登録画面の非会員参加人数内訳から入力をお願いします。

5.研修会参加者による助成金について

日臨技に在籍している参加者の人数を入力してください。

会員であれば講師・実務員も人数に含めて報告してください。

入会申請中の方を含める場合は決算報告書の備考欄に氏名を入力してください。ただし入会手続き中の確認が取れない方は助成金の対象といたしません。

6.参加費について

参加費を徴収した場合は、必ず参加費の入力を行ってください。

7.支出の区分について

極力以下の区分に合わせて入力をお願いします。

実務員経費・実務員交通費・会議費・印刷費・消耗品費・通信運搬費・会場費・機器借用代・雑費

8.参加者一覧について

都道府県専用システムの参加者登録画面より入力が完了すると参加者一覧に反映されます。決算報告書の人数と差異がないように確認してから決算報告書を作成してください。(高木理事)

岐阜県公衆衛生協議会より平成 30 年度岐阜県公衆衛生協議会長表彰の被表彰者候補の推薦についての依頼があった。

候補者推薦人数 1 名、表彰の対象は公衆衛生事業に 15 年以上にわたって従事しその功

績が顕著である個人もしくは公衆衛生事業に10年以上従事その功績が顕著である団体または公衆衛生全体の向上に著しく寄与した個人もしくは団体が表彰を受けてないことが条件である。(高木部長)

高木理事より岐阜地区からの報告があった。

平成29年度第56回岐阜県医学検査学会の決算書について報告があった。

開催日は平成30年3月25日9:30～16:00開催場所はOKBふれあい会館。

参加者は132名(会員・賛助会員)であった。

教育講演は岐阜大学大学院医学系研究科病態情報解析医学教授 清島 満先生。

ランチョンセミナーは富士レビオ株式会社営業学術グループ 吉尾 仁美 先生とロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 カスタマーソリューション部門 山田 洋一先生、市民公開講座は奥田 昌子先生である。市民公開講座：市民参加者 32名あった。

決算書について、収入の部は参加費132名(132,000円)、広告料9社(90,000円)、ランチョン広告料2社(100,000円)収入合計(322,000円)。支出の部は印刷代として資料集400部(南進社)(226,800円)、消耗品として講師お茶菓子お茶代(3,737円)、諸謝金として教育講演講師料源泉徴収込(55,685円)市民公開講座講師料源泉徴収込(33,411円)外部講師交通費(6,682円)、弁当代として参加者弁当代(1,000円×110個)(110,000円)、会議費として日当・交通費・弁当代(67,320円)、負担金としてOKBふれあい会館会場費として、前日準備(32,400円)、当日(41,000円)会場附属設備(マイク4本・プロジェクター・講演机・司会机)(20,490円)、市民公開セミナー景品奥田先生執筆日本人の体質680円×5冊(3,400円)、振込み手数料(972円)支出合計(558,697円)収支合計額△236,697円となった。(高木部長)

栄研化学より県学会抄録集広告掲載募集要項について「募集数8社以上」と記載し募集をかけたことについてご指摘を受けました。今後は具体的に「8社」とか「目標8社」と記載して賛助会員宛に発送いたします。(高木部長)

学会案内の演題発表形式及びスライド作成について、今後は、発表用Power pointのスライドは「4:3」の比率画面に対応した標準サイズで作成してくださいとの文章を付け加えてください。(高木部長)

高木理事より岐阜地区新・旧理事引き継ぎ会議を開催したとの報告があった。

日時は平成30年4月5日(木)19:00～20:00、場所は技師会事務所、参加者は新理事：藤本伸吾会員、森さゆり会員、斎藤大輔会員、松原成明会員、後藤幸雄会員、現理事：後藤浩理事、早川恭江理事、兼子徹理事、林博之理事、高木康雄理事である。

議題は理事として会議及び行事など会務を実行するための技師会提出書類、事務所使用

願い、会議・出張申請書、出張報告（復命書）の説明。

岐阜地区運営マニュアル及び連絡責任者会議開催の係るグループ分けについての説明。理事が担当する主な行事についての説明。ぎふ市民健康まつり、春季拡大研修会と定時総会、岐阜地区総会の開催、無料 HIV 検査会（組織調査部）毎年 1 回 11 月に開催（岐阜市ハートフルスクエア G 交流サロンにて開催）ぎふ市民健康まつり運営委員とワーキングメンバーの選出を行った。（高木部長）

浅野副会長より西濃地区からの報告があった。

平成 30 年度春季拡大研修会及び定時総会の日程について」報告があった。

開催日時は平成 30 年 6 月 10 日（日）午前 9 時より受付開始、午前 9 時 30 分 開催。

会場は岐阜医療科学大学早緑ホール。

メインテーマは急性腎障害（AKI）を考える。サブタイトルは臨床側からのアプローチと検査側からのアプローチ。

当日日程については 9:00 より 受付開始、9:30～9:40 岐阜県臨床検査技師会会長挨拶（兼子徹）9:40～10:40 生物化学分析部門研修会『救急医からみた AKI』岐阜大学附属病院 高次救急治療センター臨床講師 鈴木浩大先生、司会：岐阜大学附属病院 石田秀和技師、10:50～11:50 臨床一般部門研修会『急性腎障害（AKI）を考える～検査側からのアプローチ～』北陸大学医療保健学部教授 油野友二先生、司会、岐阜赤十字病院検査部 林晃司技師、12:00～13:00 ランチョンセミナー、富士レビオ株式会社 学術サービス部 吉尾仁美先生『腎臓の基礎と関連バイオマーカー（L-FABP）のご紹介』シスメックス株式会社名古屋支店学術サポート課 白石泰彦先生『敗血症の検査・診断・治療の基礎について』13:20～14:20 市民公開講座『働く人の健康管理-労働衛生の見地から-』エスアンドエイチコンサルタント事務所所長 永田寛彦 先生、司会：岐阜県臨床検査技師会副会長 浅野敦理事、14:20～14:30 定時総会受付、14:30～15:30 より平成 30 年度定時総会（功労賞、永年勤続表彰）、総会終了後 旧理事及び新理事引き継ぎ顔合わせを予定。（浅野副会長）

予算案について、収入の部は参加費 120 名（120,000 円）、広告料 10 社（100,000 円）、ランチョン広告料 2 社（100,000 円）、日臨技助成金（50,000 円）収入合計（370,000 円）。

支出の部は垂れ幕 5 枚（50,000 円）、資料集（200,000 円）、講師お茶・お菓子・文具（3,000 円）、参加者弁当代（120,000 円）、会議費（50,000 円）、負担金（20,000 円）、振込み手数料（540 円）支出合計（563,540 円）収支合計（-173,540 円）である。（浅野副会長）

乙訓理事より中濃地区からの報告があった。

平成 29 年度中農地区総会について報告があった。議題は平成 29 年度活動報告、平成

30、31 年度中農地区理事選出について。第 58 回中部圏支部医学検査学会について。

理事選出輪番制の見直しについて討議した。活動報告では検査と健康展を 12 月 3 日に  
関市わかきプラザで開催したことについて報告した。次期理事候補者は川合直樹会員  
(可児とうのう病院) 乙訓佳子会員 (関中央病院)、中村考博会員 (鷺見病院) の 3 名に  
決定した。時期の選挙管理委員、役員推薦委員は現理事 3 名が任務を担う。

中濃地区議事録を参加できなかった施設に定期便で発送します。(乙訓理事)

帖佐部長より学術部からの報告があった。

新人サポート研修会の計画書についての報告があった。

日時は平成 30 年 5 月 27 日 (日) 9:00~15:50、場所は岐阜医療科学大学で開催。

日程について、9:00~受付、9:20~開催挨拶(会長)事務局からのお知らせ、9:30  
~10:00 臨床検査総合部門「採血について」講師は岐阜大学医学部附属病院 伊藤大  
輔技師、10:00~10:30 生物化学分析部門「化学免疫学的検査の基本 ~精度管理と血  
液ガス~」講師は岐阜大学医学部附属病院 石田 秀和技師、10:00~10:  
40 休憩、10:40~11:10 臨床血液部門「データに影響を与える要因」講師は木沢記  
念病院 森川咲子技師、11:00~11:40 臨床一般部門「基礎から始める尿検査」講師  
は岐阜県総合医療センター建部雅彦技師、11:40~11:50 質問タイム、11:50~12:00  
休憩、12:00~13:00 ランチョンセミナー①シスメックス株式会社「免疫学的検査の基  
礎について」講師は名古屋支店学術サポート課松木信行先生、②オーソ・クリニカル・  
ダイアグノスティックス株式会社「ドライケミストリーについて」講師は西日本営業部  
東海北陸営業所 CL セールススペシャリスト沼田慶大先生、13:00~13:10 休憩、13:  
10~13:40 臨床生理部門「これだけは知っておきたい心電図検査の基礎知識」講師は岐  
阜県総合医療センター小路達也技師、13:40~14:10 臨床微生物部門「微生物検査につ  
いて」講師は中濃厚生病院 桂川晃一技師、14:10~14:20 休憩、14:20~14:50 輸  
血・細胞治療部門「輸血検査の基礎」講師は松波総合病院 森本剛史技師、14:50~15:  
20 病理細胞部門「知ってほしい病理検査の基礎知識」講師は大垣市民病院吉田知代技  
師、15:20~15:30 質問タイム、15:30~15:40 閉会の挨拶(副会長)の日程で進  
めます。(帖佐部長)

平成 30 年度新人サポート研修会予算書について報告があった。

収入の部につて、一般会員参加費(40名)40,000円、会員講師(8名)0円、非会員  
参加数(20名)20,000円、(非会員は申請中も含む)、学生(60名)0円、ランチョン(2  
件)100,000円、実務員(9名)0円、日臨岐事業推進費20,000円、研修会参加者助成  
金30,000円、合計参加人数130名収入合計210,000円、支出の部について、会館会場使  
用料0円、お弁当(130食)お茶付き130,000円、テキスト印刷費10,000円、会場警備費  
24,000円、会員講師日当(8名)16,000円、会員講師交通費20,000円、実務委員日当(9

名) 10,000 円、実務委員交通費 20,000 円、支出合計 230,000 円、収支額 (-20,000 円) となった。(帖佐部長)

岐阜医療科学大学の学生さんは当日お手伝いで協力していただき、また会場をお借りする理由もあるため、お弁当代を含め参加費無料としておりますが、東海学院大学の学生さんについては今後参加費として何か差をつけた方がよろしいのでは(帖佐部長)

東海学院大学の学生さんにはテキスト代として 1 人当たり 1,000 円頂きますという案内を出すことで承認した。

岐阜医療科学大学の学生さんには 50 名を超えるようでしたら、その分を HP から印刷していただくことで承認した。

帖佐部著より平成 29 年度第 3 回部門長会議について報告があった。

開催日は平成 30 年 3 月 23 日(金) 18:30~20:00、場所は岐臨技事務所。

出席者は、浅野理事、帖佐理事、近藤会員、関会員、石田会員、石郷(景)会員、林会員、渡邊会員、八島会員、後藤考司会員、森本会員、武藤会員、後藤雪乃会員、欠席は日高会員、森会員であった。

議題については県学会で 15 演題あったが生理部門で 11 演題あり今後改善してほしいとの報告があった。

春季拡大研修会については 6 月 10 日(生物化学部門、一般部門が担当)西濃地区理事が担当する。テーマは急性腎障害(AKI)を考える。一般部門講師北陸大学医療保険学部油野友二先生、生物化学部門は岐阜大学医学部附属病院救急外来医師に打診中、ランチオン 2 社は富士レビオとシスメックス、市民公開講座は労働安全に詳しいナガタノリヒコ氏で調整中。

新部門長の紹介では臨床微生物が後藤雪乃先生、臨床検査総合が武藤次朗先生、生理機能検査部門長は今吉由美先生に変更した。

新人サポート研修会の内容確認について、5 月 27 日岐阜医療科学大学で開催、昨年は採血が好評であった。今年も採血で予定、石田真理子先生に打診。

岐阜県臨床検査技師会誌について、部門に偏りあり改善が必要。

定時総会は 6 月 10 日春季拡大研修会の後 14:30 より開催。

部門員の人数について意見があった。生理部門は 3 分野で精度管理問題を作成するのに困難であるため人数枠を増やしていただきたい。現行の部門長 1 名+副部門長 2 名+部門員 7 名について副部門員+部門員を 10 名前後という枠にしてほしい。

中部学会の開催のあたり増員を希望する。採決により 1 ないし 2 名増員に決定した。

岐臨技 HP の運用は 4 月より西美濃厚生病院 棚橋正智会員と共に運用いたします。(帖佐部長)

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

新規で精度管理役員4名承認されました。今年度は旧役員と一緒に活動していきます。  
JAMTQC 使用申請完了しました。(佐藤部長)

清水部長より組織調査部からの報告があった。

平成29年度功労者表彰該当者は2名、多和田嘉明会員(公立学校共済組合東海中央病院)太田義和会員(株式会社東海細胞研究所)。2人とも定時総会にきていただけますので表彰させていただきます。

平成28年度永年職務精励者表彰該当者は9名。佐藤英磨会員(医療法人社団慈朋会澤田病院)、小林泰樹会員(郡上市民病院)、波多野正和会員(JA岐阜厚生連中濃厚生病院)、浅野敦会員(大垣市民病)、後藤幸雄会員(社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院)、武藤次郎会員(岐阜赤十字病院)、川合直樹会員(独立行政法人地域医療機能推進機構可児とうのう病院)、児玉千里会員(大垣市民病院医療技術部診療検査科)、荒木誠会員(JA岐阜厚生連西美濃厚生病院)である。代表で表彰を受けていただける方については川合直樹先生に一度声を掛けることになりました。(清水部長)

乙訓部長より広報宣伝部からの報告があった。

平成30年度広報宣伝部事業計画について報告があった。会報の発行は6回以上とする。内容は56号(5月)県学会、中部圏支部研修会(一般、病理)、全国学会、初級職能開発講習会、岐臨技ニューリーダー研修会報告など。57号(7月)会長挨拶、理事紹介など。定時総会、春季拡大研修会、新人サポート、セミナー報告など。58号(10月)岐阜県認知症対応向上講習会、各地区イベント報告など。59号(12月)秋季拡大研修会、検査と健康展、各地区イベント報告。中部圏支部医学検査学会(三重)報告など。60号(1月)会長年始挨拶など。61号(3月)県学会、精度管理報告会報告など。施設紹介、各部門からの研修会報告、御寄稿などは随時掲載予定。「新人さんいらっしゃい(仮題)」など新人技師紹介コーナーも企画。第58回中部圏支部医学検査学会(H31.10,岐阜)の準備進捗状況を随時報告。

会報作成スケジュール等は以下の通りで行う。投稿願(発行月の前月1日より依頼)、原稿締め切り、内容確認、校正(発行月の理事会日)、発送(発行月20日) 2. ホームページの維持管理(株)ディックナレッジテクノソリューション(担当:島田様)を通じて各種情報を掲載。ホームページ バナー広告協力メーカーの契約管理、新規獲得。10月~次年度10月まで、36,000円/社の年間計画、4社(積水メディカル(株)、栄研化学(株)、シーメンスヘルスケア、アークレイマーケティング(株))(乙訓部長)

柴部長より人材育成部からの報告があった。

H29 年度 都道府県技師会リーダー育成研修会決算書について報告があった。

開催日は平成 30 年 3 月 4 日（日）、開催場所は OKB ふれあい会館小会議室、決算書について収入の部は研修会等参加費 27 名分（¥54,000）、支出の部が資料集（¥0）OKB ふれあい会館小会（¥16,180）お弁当代・お茶（¥29,865）、文具（¥0）、外部講師 3 名（¥35,411）、外部講師（¥22,274）準備委員会、当日運営計 2 回（¥11,000）、準備委員会、当日運営計 2 回（¥27,600）準備委員会 計 1 回（¥2,700）講師お茶菓子（¥492）合計（¥145,522）収支額（¥-91,522）であった。（柴部長）

平成 30 年度 初級・職能開発講習会企画書について報告があった。

開催日時は平成 30 年 4 月 22 日（日）8 時 30 分から 16 時まで、開催場所は岐阜大学医学部会議室、カリキュラムは 8:30 受付開始、9:00 オリエンテーション、9:10 会長講話「医療情報と今後の方向性について」日臨技 会長 宮島 喜文、10:10 休憩、10:20 基調講演「多職種連携医療で活躍する臨床検査技師」日臨技 副会長 横地 常広、11:50 昼食、13:00 グループワーク「多様なニーズに対する臨床検査技師のあり方」司会：県担当講師：横地常広 副会長、15:00 休憩、15:10e ラーニング「自己学修支援システム」の概要説明、15:50 閉講式、16:00 終了。予算書については収入部門が受講料 0 円/人×40 名（受講料は岐臨技負担ゼロ円とする）、日臨技負担金（19,740 円）雑収入 0 円、合計収入額（19,740 円）。支出部門が会場費（0 円）印刷費（0 円）、旅費交通費・日当（19,740 円）小計（19,740 円）は日臨技負担とする。会場費（0 円）、設備・備品費（0 円）旅費交通費・日当（17,440 円）会議費（0 円）通信運搬費（0 円）、消耗品費（0 円）広報費（0 円）、雑費（2,000 円）、小計（39,180 円）収支予算額（-19,440 円）である。（柴部長）

乙訓部長より会計報告があった。

平成 29 年度経常収益計 14,271,301 円、予算 12,980,100 円、差額 1,291,201 円。経常費用計 12,362,422 円、予算 12,980,100 円、差額-617,678 円。当期一般正味財産増減額としては今年度 1,908,879 円の黒字であった。（乙訓部長）

年に一回くらい各部門で有名講師を呼んでいただくことも、黒字額を考えると可能と思います。（兼子会長）

その他

定時総会までの準備について高木部長より説明があった。

第二号議案、「平成 30・31 年度役員選任について」、案内及び承認用紙は 4 月 20 日定期便で各施設会員に発送します。

案内状の修正箇所として案内状に平成 30 年度定時総会第 2 号議案を追加する。承認カードの修正箇所については法人対応部を渉外部に変更する。

定時総会召集通知及び議決権行使書は 5 月 15 日（火）（臨時便）で発送します。また議決権行使書の返信期限を 5 月 31 日（木）必着とします。

議決権行使書の開票日を 6 月 5 日（火）とします。開票時間は 18 時 30 分、開票場所は岐臨技事務所、開票者は 5 名（理事 4 名と監事 1 名）今のところ高木部長と浅野副会長が出席、他 3 名は次回理事会で決める。

議決権行使書開票時確認事項として第一号議案書面評決数の確認。承認する数、承認しない数、無効数、定時総会出席数を出す。またその場で監事の承認を取る。定時総会で資格審査委員に書面評決数を報告する。

第一号議案、平成 29 年度事業報告、平成 29 年度決算報告、平成 29 年度監査報告について。

平成 29 年度事業報告書・決算報告書を 5 月 11 日（金）までに庶務へ提出してください。資料は pdf ファイルにして 5 月 14 日（月）に理事・監事全員にメールで発送いたします。理事・監事は pdf ファイル（第一号議案）の確認を行い、変更箇所があればメールで連絡をとり 5 月 18 日（金）の理事会で承認できるよう事前に作業をすすめます。5 月 18 日（金）の理事会で第一号議案の承認を取ります。承認後、監事 2 名より署名捺印を頂き、5 月 22 日（火）に岐臨技 HP に掲載します。

6 月 10 日定時総会の役員選任について。

司会者は（高木庶務部長）、開会の辞は（浅野副会長）、議長 2 名（外部より選出）、書記 2 名（高木庶務部長・松浦理事）、資格審査委員岐阜地区より後藤・林・早川理事、西濃地区より川島理事、飛騨地区より舟橋理事、中濃地区より林泉理事、資格審査報告は川島理事に依頼する。監査報告は監事 1 名、閉会の辞は（棚村副会長）に依頼する。（高木部長）

西濃地区の選挙管理委員より選挙管理委員の役員改選時期の変更についての要望がありました。選挙管理委員の活動時期は 2 年に一回、しかも年度が変わって 4 月から 6 月までの期間での活動であるため 2 年後では職場異動で業務が遂行できないこともあり、できれば選挙管理委員の役員改選時期を役員選挙のない時期に一年ずらしていただけないかとの要望であった。（浅野副会長）

現在のところ、理事選挙や部門員改選は、同時期に行っています。理事選挙に至っては定時総会の開催時期の関係もあり、年度が変わってからの選挙となるため、選挙管理委員も同時期に活動していただいております。万が一職場異動で業務が遂行できなくなった場合、同じ施設から代行を立てていただきたい。

この件に関して協議したところ、別々に改選するよりは一度に改選したほうが合理的と思われ、選挙管理委員も現行どおり役員選挙と同時期に改選し、2年後の業務を遂行していただくことに決定した。(高木部長)

議長 前子 徹 

議事録署名人 浅野 敦 

議事録署名人 棚村 一彦 